

授業科目	高度義歯補綴学(咬合・有床義歯補綴学)		
区分・単位	講義・演習・実習 9単位	関連分野等	
年次・期別	1年次～2年次	曜日・時限	月曜日～金曜日
教室	保存科・補綴科診療室,歯学部9階図書室, 咬合・口腔機能再建学分野研究室	担当者電話番号	086-235-6685(皆木省吾)
担当教員	【研究科】教授:皆木省吾,准教授:原 哲也,助教:岡 森彦,沖 和広,兒玉直紀 【病院】講師:西川悟郎,丸尾幸憲		
一般目標	有床義歯補綴学に関する広い知識と専門的治療技能を習得する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 有床義歯装着後の義歯床下組織の変化について説明できる。 2. 義歯床下組織の変化に影響を及ぼす因子を列挙できる。 3. 難症例欠損患者の診断が行える。 4. 有床義歯補綴学に関する治療方針と治療計画が立案できる。 5. 難症例欠損患者に対する有床義歯による補綴治療を行うことができる。 6. 有床義歯補綴による治療効果を判定できる。 		
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 有床義歯補綴学(講義):(皆木・原・西川・丸尾・沖・岡・兒玉) 有床義歯補綴治療に必要な解剖学,生理学,理工学などの基礎的科目,ならびに有床義歯補綴治療の前処置としての,口腔外科学,歯周治療学,保存修復学,冠橋義歯補綴学の臨床歯科学の学習を行う。有床義歯補綴学治療については適切な診査,診断,治療が行えるように基礎知識から下顎位の設定,咬合様式,ニュートラルゾーン,金属床義歯などについて学習する。 2. 模型を用いた基礎実習:(関連教官) 無歯顎粘膜模型を用いて筋圧形成法,下顎位の設定法,調節性咬合器の使用方法について実習を行う。また,有床義歯作製法についての基礎的知識を習得することで,義歯の設計,前処置などについての知識を学ぶ。 3. 有床義歯患者治療(臨床実習):(皆木・原・西川・丸尾・沖・岡・兒玉) 有床義歯患者の治療においては症例の診断を行い,資料方針を設定し,さらに得られる治療効果について適切な判断を行うことが重要である。そのため患者の治療背景を含めたこれらの報告会を行い,参加者からの意見を参考として治療についての方針を決定する。その治療方針に基づいて行った治療経過について漸次報告を行う。これらの積み重ねにより,論理的思考と議論展開の基礎を学ぶ。 4. 症例検討会(演習):(関連教官) 毎週開催される補綴症例検討会に参加し,順次回ってくる順番に従い,各自の治療内容を論理的・科学的に報告する。また,他者の発表では,治療法に関して議論を展開する。 5. 各種セミナー(演習):(関連教官) 国内外の他機関講師によるセミナーを積極的に受け,治療・研究の最先端の知識と研究者の議論展開を学ぶ。これはあらゆる知識を得るため,他教室主催のものも積極的に受けることを強く推奨する。 6. 学会参加(講義・演習):(学会参加の研究 G 担当教官) 日本歯科補綴学会に参加し,他発表者の論理展開を理解する。学内のみならず,学外の研究者との交流によって議論を発展させ,より深い追求心が生まれる。また,日本補綴歯科学会専門医(5年間)取得のために,学術大会参加,専門医研修セミナーに参加し,知識を深める。また,専門医申請の臨床症例報告ができるように準備しておく。 本講義・演習・実習を通して,いわゆる難症例欠損患者の特徴と治療についての専門的な治療技術および治療方法の獲得を得ることを目標とする。 		
テキスト・参考書等	専門書から論文まで多岐にわたるため,その都度指示する。ただし,指示せずとも,自ら見出す方が望ましい。		
成績評価基準 成績評価方法	最低月に1回,教授を交えて,治療法に関する議論を展開する。日ごろの治療姿勢,セミナーに対する姿勢などから総合的に判断する。		
研究活動との関連	有床義歯に関する様々な研究を行っており,これらの研究結果あるいは研究デザインについても詳細に講義を行う予定である。		

基礎実習	ファントムを用いて半調節性咬合器の使用方法の実習を行う。
臨床実習	臨床実習は、クリニカルクラークシップにより全てのステップを20症例以上実習する
症例検討会	症例検討会は、毎月行う
講義日程	<p>下記のセミナーを開催する。日程等は事前に大学院生に通知する。</p> <p>第1回 老年歯科医学総論 (皆木省吾教授)</p> <p>第2回 嚥下補助床と構音補助床 (皆木省吾教授)</p> <p>第3回 高齢者無歯顎患者の治療と咀嚼 (皆木省吾教授)</p> <p>第4回 高齢者部分無歯顎患者の治療 (原 哲也先生)</p> <p>第5回 顎欠損患者の補綴治療 (西川悟郎先生)</p> <p>第6回 高齢者の粘膜疾患と口腔乾燥 (岡 森彦先生)</p> <p>第7回 義歯の設計概念 (原 哲也先生)</p> <p>第8回 下顎運動記録と調節性咬合器 (沖 和弘先生)</p> <p>第9回 下顎運動記録実習 (指導教員)</p> <p>第10回 義歯に付与すべき咬合様式 (原 哲也先生)</p> <p>第11回 オーバーデンチャー (兒玉直紀先生)</p> <p>第12回 インプラント義歯 (丸尾幸憲先生)</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>第118回日本補綴歯科学会学術大会</p> <p>日時:平成20年 6月5～7日</p> <p>会場: 国立京都国際会館</p>